

## 2 予算案のポイント

### 「しあわせ信州創造プラン2.0」の着実な推進に向けて

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて、「学びの県づくり」、「産業の生産性が高い県づくり」、「人をひきつける快適な県づくり」、「いのちを守り育む県づくり」、「誰にでも居場所と出番がある県づくり」、「自治の力みなぎる県づくり」の6つの施策推進の基本方針に沿って、プランの実行計画である「第3期長野県食と農業農村振興計画」も踏まえ、関係部局や地域振興局、民間企業、関係団体等と連携し、事業を推進します。

#### 学 び の 県 づ く り

- 本県農業の持続的な発展のため、長野県農業大学校において、より実践的な講義、実習となるようカリキュラムや教育現場の充実を図り、将来の長野県農業を牽引する企業的農業経営者の育成を進めます。

#### 産 業 の 生 産 性 が 高 い 県 づ く り

- 農業機械メーカーや外部の専門家などと連携して、研修会の開催や機械の試験導入などにより、農業分野にAI、ICT等の先端技術を活用したスマート農業技術の社会実装を加速化し、生産性の向上を図ります。
- 教育委員会と連携し、高校生等に対して将来の就農に向けた具体的な道筋を示すとともに、産業としての農業の魅力を発信することにより、未来の担い手の確保を進めます。
- 県内で発生したリンゴ黒星病の薬剤耐性菌による被害のまん延を防止し、農家の皆さんが安心して栽培に取り組めるよう、県産苗木の生産・供給体制を関係団体と連携して整備し、本県農業の基幹品目であるリンゴ産地の持続的な発展を図ります。
- 県内での国際フラワーフォーラムの開催、海外で開催される国際博覧会への出展など、国内外から評価の高い県産花きの強みを活かした販売戦略や積極的なプロモーション活動により、国内での消費拡大と輸出を視野に入れた販路拡大を図ります。
- 信州プレミアム牛肉の生産拡大を図るとともに、従来の関西方面に加え、東京オリンピック・パラリンピックなどの国際行事を控えている首都圏への売り込みを強化し、ブランド力の強化を図ります。

## 人をひきつける快適な県づくり

- 県内外の定年帰農、農ある暮らし、半農半Xなどを志向する農業未経験者に対して、市町村、農業関係団体等と連携して、農業を学び・体験・実践する場を提供し、多様な人材を県内へ呼び込み、定着等を図る取組を進め、農村の活性化を図ります。
- 本県の美しい農村風景を形成している歴史ある農業用水路やため池、棚田を県内外に広く発信し、その魅力を学ぶとともに観光資源としても活用する取組を進め、地域の活性化を図ります。

## いのちを守り育む県づくり

- 大規模地震や豪雨などの異常気象による災害を未然に防止するため、ため池の耐震化や地すべり防止施設の長寿命化などを計画的に進めます。
- 近年増加している農作業事故を未然に防止するため、地域での農作業安全研修会の開催やアドバイザーによる身体機能の確認、機械操作の体験学習などの安全指導の強化により、事故リスクの軽減を図ります。

## 誰にでも居場所と出番がある県づくり

- 県内の農業女子による首都圏等でのトークセッションや農産物の販売・PRを通じて、都市部に住む若い世代に対し自身の経験や信州の魅力を伝え、本県への就農・移住を促進する取組を進めるとともに、農業女子自らの経営者としてのスキルアップを支援します。

## 自治の力みなぎる県づくり

- 県内のホテル・旅館等における食材を県外産から県内産に置き替える地消地産の取組や、「おいしい信州ふード」のメニュー提案、フェアの開催などにより、県産農畜産物の魅力を県民の皆様に理解・発信していただく取組を推進し、県外や海外からの観光客などへの利用拡大を図ります。